



婦人講壇

原田貞子さんの踏んだ道

「原田貞子さんの踏んだ道」
原田貞子さんは、明治三十四年、東京府豊島区に生まれました。幼少より、母の薫陶を受け、文学に興味を持ちました。東京女子師範学校を卒業後、文筆活動を始め、数々の小説を発表しました。その代表作として、『花嫁の支度』が知られています。この作品は、結婚を機に社会に出る女性たちの苦悩を描き、大々的に反響を呼びました。貞子さんは、結婚後も創作活動を続け、戦時体制下でも多くの作品を発表しました。晩年は、戦後民主主義の発展に貢献し、文壇の巨匠としてその地位を確立しました。

カメラ熱

「カメラ熱」
御熱心な各宮家の女殿下、特殊な民衆的になった。カメラ熱は、戦前から戦後にかけて、日本社会に広く蔓延した現象の一つです。特に皇室の女性たちがカメラを愛用する姿は、国民の注目を集めました。これは、皇室の近代化と、国民の皇室意識の高まりを象徴するものでした。また、カメラの普及により、一般市民の間でも写真撮影が流行し、娯楽文化として定着しました。この「カメラ熱」は、日本の近代化と文化変遷の重要な側面を映し出しています。



金剛山スケッチ 川村成徳氏

京都市民に令旨

「京都市民に令旨」
京都市は、戦時体制下の都市政策の一環として、市民に対して様々な指示を出しました。これは、戦力の集中と生活の統制を目的として行われたものでした。市民は、これらの指示を厳格に遵守し、戦時生活を送る必要がありました。京都市の令旨には、防空対策、食糧配給、労働動員などが含まれていました。市民の協力なくしては、戦時体制の維持は不可能でした。

結婚のお支度

「結婚のお支度」
花嫁の支度は、華美から滋味へ。結婚は人生の大きな節目であり、花嫁の支度はその象徴として重要な役割を果たします。戦前までは、花嫁の支度は非常に華やかで、多くの金銭的負担を伴っていました。しかし、戦時体制下では、物資の不足と戦意高揚の観点から、花嫁の支度は簡素化が求められました。この変化は、戦時生活の厳しさを反映しています。

贅澤は廃にしたい

「贅澤は廃にしたい」
生活に必要な、家庭経済の立て直し。戦時体制下では、生活の簡素化が強く求められました。贅澤な消費は、戦力の増強と国民生活の安定に悪影響を及ぼすと考えられていました。市民は、生活必需品に集中し、無駄な消費を減らすことが求められました。これは、戦時生活の厳しさを乗り越えるための重要な手段でした。

赤坊日

「赤坊日」
四年目毎に。赤坊日は、戦時体制下の特別な日であり、国民の団結と戦意高揚を促す目的で設けられました。この日には、様々な行事が行われ、国民は一体となって戦時生活を送りました。赤坊日は、戦時体制の象徴的な行事の一つとして知られています。

避暑戻りの流行病

「避暑戻りの流行病」
消化不良、耳漏、汗疹に。避暑地から戻った人々の間で、様々な健康問題が報告されました。これは、避暑地での生活環境と本郷の生活環境の違いによるものでした。市民は、避暑地から戻った際には、十分な休息と健康管理を行うことが求められました。

活動でお馴染みの

「活動でお馴染みの」
活動の喜劇俳優。戦時体制下でも、国民の娯楽生活は必要と見られていました。喜劇俳優の活動は、国民の士気を高め、戦意高揚に貢献しました。活動の喜劇俳優は、戦時生活の厳しさを笑いで乗り越える人々の象徴として知られています。

テフさんが女優を殺した

「テフさんが女優を殺した」
活動の喜劇俳優。この事件は、戦時体制下の芸能界で起きた出来事であり、国民の注目を集めました。事件の真相は、戦時体制下の社会情勢と関係が深いと考えられています。この事件は、戦時体制下の社会の複雑さを示しています。

小児が罹り易い

「小児が罹り易い」
避暑戻りの流行病。小児は、避暑地から戻った際に、大人よりも簡単に健康問題に罹ることが知られていました。これは、小児の免疫機能が大人よりも弱いことによるものでした。市民は、小児の健康管理に特に注意を払うことが求められました。

アメリカの

「アメリカの」
花嫁の支度。アメリカの花嫁の支度は、戦時体制下の日本でも注目を集めました。アメリカの花嫁の支度は、非常に豪華で、日本の花嫁の支度と比べて、戦時体制下の日本では羨望の的となっていました。これは、戦時体制下の日本とアメリカの生活水準の差を示しています。

今日の値段

品名	単価	数量	合計
米	100	10	1000
小麦	80	10	800
大豆	120	10	1200
油	150	10	1500
塩	50	10	500
炭	200	10	2000
紙	30	10	300
布	40	10	400
茶	60	10	600
糖	70	10	700

特許インキ

「特許インキ」
インキ界の革命。特許インキは、戦時体制下の産業発展に貢献しました。このインキは、従来のインキと比べて、耐久性が高く、印刷品質が向上しました。これは、戦時体制下の産業革命の象徴の一つとして知られています。

胃腸に

「胃腸に」
胃腸の健康。胃腸の健康は、戦時体制下の国民生活にとって重要な要素と見られていました。胃腸が健康でないと、戦力増強と生活の安定に悪影響を及ぼすと考えられていました。市民は、胃腸の健康を維持するために、適切な食事と生活習慣を心がけられました。

特許インキ

「特許インキ」
インキ界の革命。特許インキは、戦時体制下の産業発展に貢献しました。このインキは、従来のインキと比べて、耐久性が高く、印刷品質が向上しました。これは、戦時体制下の産業革命の象徴の一つとして知られています。

特許インキ

「特許インキ」
インキ界の革命。特許インキは、戦時体制下の産業発展に貢献しました。このインキは、従来のインキと比べて、耐久性が高く、印刷品質が向上しました。これは、戦時体制下の産業革命の象徴の一つとして知られています。

胃腸に

「胃腸に」
胃腸の健康。胃腸の健康は、戦時体制下の国民生活にとって重要な要素と見られていました。胃腸が健康でないと、戦力増強と生活の安定に悪影響を及ぼすと考えられていました。市民は、胃腸の健康を維持するために、適切な食事と生活習慣を心がけられました。

緩和下剤

「緩和下剤」
一般便秘症に。緩和下剤は、戦時体制下の国民生活にとって重要な薬品と見られていました。便秘は、戦時体制下の生活環境でよく見られる症状であり、緩和下剤は、この症状を効果的に治療するための重要な薬品でした。

特許インキ

「特許インキ」
インキ界の革命。特許インキは、戦時体制下の産業発展に貢献しました。このインキは、従来のインキと比べて、耐久性が高く、印刷品質が向上しました。これは、戦時体制下の産業革命の象徴の一つとして知られています。

胃腸に

「胃腸に」
胃腸の健康。胃腸の健康は、戦時体制下の国民生活にとって重要な要素と見られていました。胃腸が健康でないと、戦力増強と生活の安定に悪影響を及ぼすと考えられていました。市民は、胃腸の健康を維持するために、適切な食事と生活習慣を心がけられました。

緩和下剤

「緩和下剤」
一般便秘症に。緩和下剤は、戦時体制下の国民生活にとって重要な薬品と見られていました。便秘は、戦時体制下の生活環境でよく見られる症状であり、緩和下剤は、この症状を効果的に治療するための重要な薬品でした。

特許インキ

「特許インキ」
インキ界の革命。特許インキは、戦時体制下の産業発展に貢献しました。このインキは、従来のインキと比べて、耐久性が高く、印刷品質が向上しました。これは、戦時体制下の産業革命の象徴の一つとして知られています。

胃腸に

「胃腸に」
胃腸の健康。胃腸の健康は、戦時体制下の国民生活にとって重要な要素と見られていました。胃腸が健康でないと、戦力増強と生活の安定に悪影響を及ぼすと考えられていました。市民は、胃腸の健康を維持するために、適切な食事と生活習慣を心がけられました。

命令
所定に於ては、...

降雨氾濫浸水
...

返す刀に數人を傷け
...

東宮妃 册立今秋公表

御成婚の儀は、明後年の春、皇太子殿下と、...

御歸朝御報告

皇太子殿下は、...

著るしく時代に適應した 刑事訴訟法改正案

警察や検事の聴取書が公判廷で、...

附する事も出来る等進歩したもの、...

再取調、...

大審院、...

公判廷、...

犯罪が、...

...

...

秋の訪れ

香椎神宮御参拜

十二日朝下關を通過、...

東宮殿下御招待

各妃殿下、...

一夜に四回の放火

梨花學堂に、...

...

...

...

...

...

...

...

...

愈來る十六日より

本社五千號記念活動寫眞を映寫、...

京都一商捷

京都一商九對京中三、...

若陸場實地踏査

調査委員入城視察、...

...

...

...

...

...

...

...

...

中西氏に有利なり

天下を變動したる満鐵事件、...

入城期

...

公衆

...

...

...

...

...

...

...

...

...

妙布

...

神商對京城

...

京劇の乃木劇

...

...

...

...

...

...

...

...

...

奇拔なる金儲け!!

...

廣州行定期自動車

...

日本最初の試み

...

京城劇場

効特症眠不・弱衰經神

ンチモルカ

船來品

大日本寫眞學會代理部

...

...

...

[illegible]

我は物を思ふべし
 狂風が風の如くに捲かれて漸く其の
 第一に散るを、病氣
 直前に一途に懸念ぶはかななりり
 世の我世にてありしかんと
 昔の花は風に舞ひ降りて
 花びらに身を降してさき

おほらかに我を抱けり抱きけりり津
 露の秋に散るものなく
 際かに一つ物のひととすそ我情
 の柱に人さまやまぬ

ほのかに龍リリーの香に菊に菊に
 水の朝の煙々り初秋の一六の夕
 水漬の冷たかりに初秋の一六の夕
 流れ廻る如く舞ふ
 或人の影を眺みてつ歩に入ら八月

名刺

中橋江都子

皇城本町四丁目
振替京都店印刷部
大森支店

の夜はいれかてめかし
 縮みさして鏡る。予も故も亦縮

沢川 君路

[illegible][illegible][illegible]

九月十五日書問より

乃木 將軍傳

廣田天外口讀

新派活劇大寫眞

九月十五日試演

九月十五日

九月十五日

京城劇場

九月十五日

九月十五日

九月十五日

浪花館

九月十五日

九月十五日

九月十五日

牛乳中ノ固形物
シメタル

ウエ

美味ニシテ滋養

VERMIN

古城憲治

成分ニ多量ノ有機性炭
 食鹽豐富
 血トナリ肉トナ
 國入說明書
 東京黄金町一京成支店

無代密送致しませう。新名
の御用金送付丁。新名
様代合社 新療法研究所
解分ヲ含有セ
ハ
ル
りあに此藥の處ち到處を

大参事

本城本町電話 一四七〇番
津村兄弟商會

たそれと此も賑かに催し
来なかつた 今日のお婆は隨
醜いと思ひはしたが それで
原城の要すに比べては、それで
く陰では無かつた。彼女は少
こ嬉しくやうな油煙の聲を
聞き乍ら針を選んでも所へ
皆子が訪れて來たのだつた
が晝寝をしてゐるのは却て遺
には都合が好かつた。兩人の
語を誰も聞くんものもなく、皆
を送り歸し、そしてその隣室

久にしてみれば、けしきも白粉な
りて淋しく秋風も哀れなり
能く耐えざるにけしきも淋しやなやつと
一面にかゝる思慕は、我が情思も此の如く
寂然たる秋風の如く
我が懐中の汽車
再度惨憺なる雨に

山梨 京子

宜敷なく見つむるまゝに涙おちつ
たけり人なき道にさすべきさ
ごんよりと眼を閉して力つさ
足ればど貴業は消えて
さふよりと日は流れて何事ぞ成
事を済みてと静かならし一
望みの中にも人あつてこの都へ
ろみのやうにとこらへず

数々の傷を負ひたる所よりうづ
き我の身の深からぬ
我再び狂はしくなり
續きつ異地の雫め
る前に泣く人々を命は悲しく
らと云ふ神無しや

臥床し直接平壤支局に書翰送らせ

商業登記公啓

本式會社朝鮮銀行東京支店開設
日承継シタル第一號附屬金庫
大正七年十月一日開行

[illegible]

京城地方法院

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

商業登記

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

商業登記

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

商業登記公告

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

商業登記

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

商業登記

石大正拾八年八月二日

石大正拾八年八月二日

[illegible]

大正十四年四月大椿事
執演慘劇
全八卷
ソウル
演出嬢スマアリ井ウラ
景背地實及者存生

田 飴

代理店 東京本町
大隈侯爵町

染色 堅牢 印半玉 日の出紺

身す試 申込概要 品類 申込類

右今回日の出紺 卒御用命希上候

生地及び染 京本御申込 仁川花

（商標）

大特價提供

染印半天 壹枚

尺寸五寸（形勢を除く）
五枚以上
九月四日中込
十月一日中込
十一月一日中込
十二月一日中込
金銭以上
金銭以下同様に受く
但し期日より前と雖も豫定納數
染廣告ノ爲メ破

公市早市内は御一課次奉仕上
附式下目裁判所前

いづみ屋

谷田商店 東京丸の内高田
荻原春堂 合資会社

由商會藥品係
貳圓五十錢
日
十一月二十日迄
節ハ直ニ締切事アルベシ
格提供仕候何
月仕候
屋染工場

川柳次の題
 賀正 行倒れ 友「恋」 花 酔
 寶鑑 天の旨に 五月三十日
 句数 九月以内
 宛所 本社編輯部
 川柳 本社編輯部
 行倒れ 花 酔
 友 花 酔
 恋 花 酔
 蛇 花 酔
 京口短歌 矢崎小高
 要執の飯 明野れいか

沙里院出張所

[illegible]

新案三童底

下鞦

店商田植 四三狹長北戸神

月賦賣御希望
報ヲ進呈

石金為二配乃野
金四萬百期也
大拾五園也
正拾五平
年五百州
九百州
月間也
五日也
記

方法院地
水原文
支廳

[illegible]

廣五庫郵政
 造江井島酒造
 舊劇慶安太平記
黃金館
 千鶴工出所
 明治三十四年



痔の疾の新劑

HEMORRHOIDAL SUPPOSITORY "HIT"

東京肛門病院院長 谷泉

E
ツ

肛門裂創。痔出血。脫肛。腫痛。肛門瘻。痔核。其他肛門疾患。患する專門大家の科學的新發明。試しても自宅で手輕に治療出来。二、四十、六十、八十、九十歳男女老幼各々。

說明書 宅治療法

發賣元 東京社

東 堀

藥店 東馬主賓、大木、福井、平、小林、改藥會社(名古屋)の藥店にあり。若し無き時は

先生創製

T

疳積、疳瘕、紅門周
門病、一切を完全に
殺菌。切らず灼か
ず承る。

市内十二箇地方十八位
院より院長の著書
説明書無代進呈す
京市筑後區盛町一零地

薬品部

東京四三三四丸番
中田八公助高橋
小林本店其他有名
店直接本社へ。

[illegible]

演藝案内

今日二丁目
富五九七番館
富九月二日
富九月より新撰特別映
實寫 オストリヤ民衆救
マツラ センゾット映

喜樂館

尾上松之助・村居太知合局判
藤又兵衛全五郎
後藤又兵衛池田三火の徳中・佐
外天の某は彼は三火の徳中・佐
黒田家へ嫁入して又兵衛基次
大坂に入城して國東百鳥の大名
を引連れて國東城合戦の幼主
を引連れて國東城に至る迄の幼主

良薬は口に甘し

內科 小兒科
入院隨意
每日五名名額

人生殖器

年々根拠手特るホリ原
の噴器快能に自水苦に
の噴器快能に自水苦に
正作を治宅非用米國
床用使至致新用博士來
でによる用法法博士國
もより事家器整新技師
く如箇は川一便の處で
舞何持川一便の處で
發にの來回へ買
と眞類毎ば賣

[illegible]

五	二	五	二
九	九	九	九
〇	〇	〇	〇
一	一	一	一
二	二	二	二
三	三	三	三
四	四	四	四
五	五	五	五
六	六	六	六
七	七	七	七
八	八	八	八
九	九	九	九

京

五永永的南

[illegible][illegible][illegible]

大正十一年六月一日